



# TEMAIRAZU

---

**2022年6月期（第19期）**

**決算説明資料**

# 目次

2022年6月期 決算ハイライト	2 ページ
2022年6月期 事業報告	11 ページ
2023年6月期 業績予想と事業展開	22 ページ

# 1 決算ハイライト

---

# 1 2022年6月期 決算ハイライト

## 1 決算概要

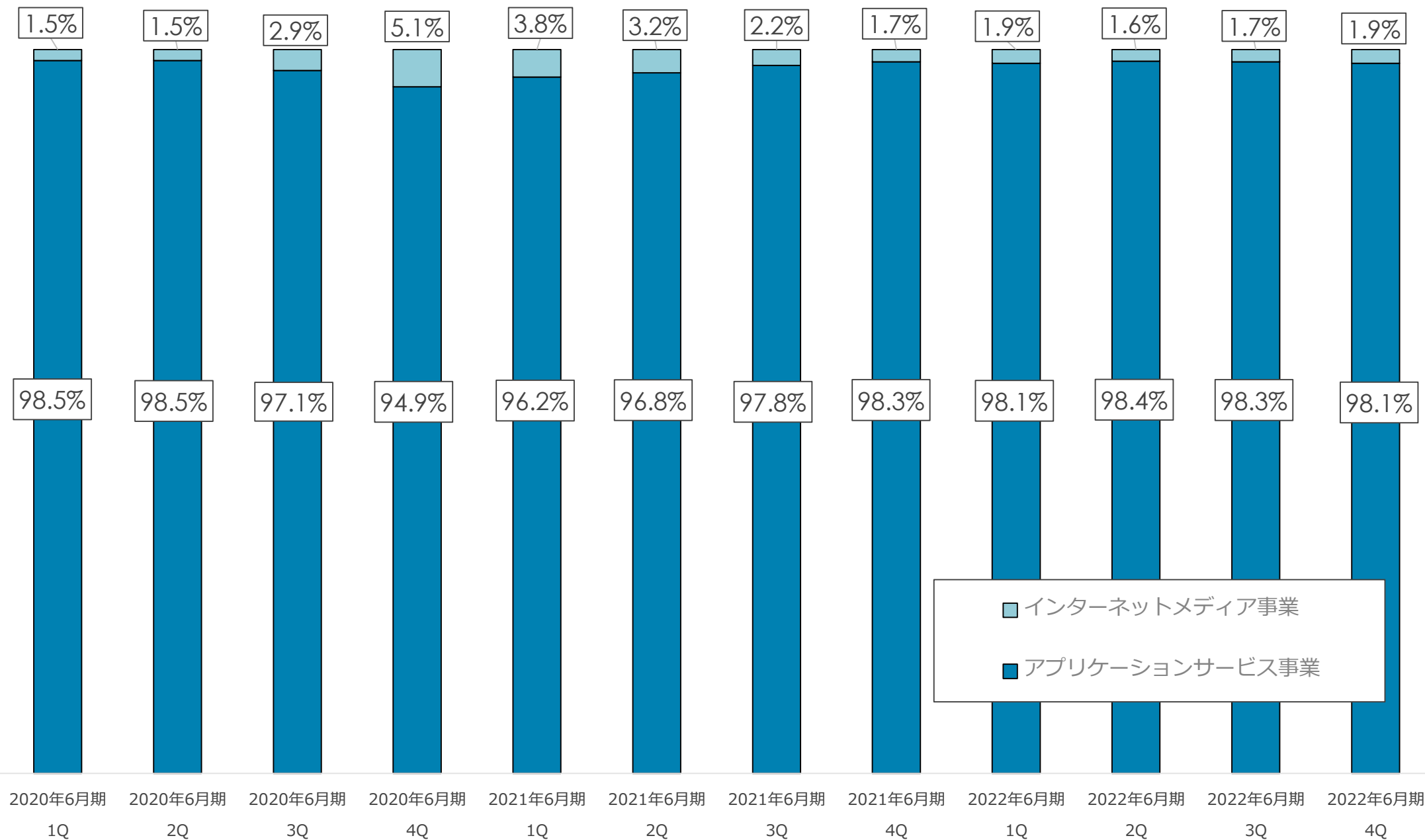
売上高：前期比 **1.3%増**

営業利益：前期比 **2.1%増**

	2022年6月期		前年同期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
	実績	売上高 利益率			
売上高	1,631,008 千円	—	1,610,382 千円	20,626 千円	<b>1.3%</b>
営業利益	1,168,218 千円	<b>71.6%</b>	1,144,273 千円	23,944千円	<b>2.1%</b>
経常利益	1,179,352 千円	<b>72.3%</b>	1,147,529 千円	31,823 千円	<b>2.8%</b>
当期純利益	782,582 千円	<b>48.0%</b>	758,413 千円	24,169 千円	<b>3.2%</b>
1株当たり 当期純利益	120円78銭	—	117円6銭	—	—

# 1 2022年6月期 決算ハイライト

## 2 売上高構成比の推移



# 1 2022年6月期 決算ハイライト

## 3 セグメント別売上とセグメント別利益

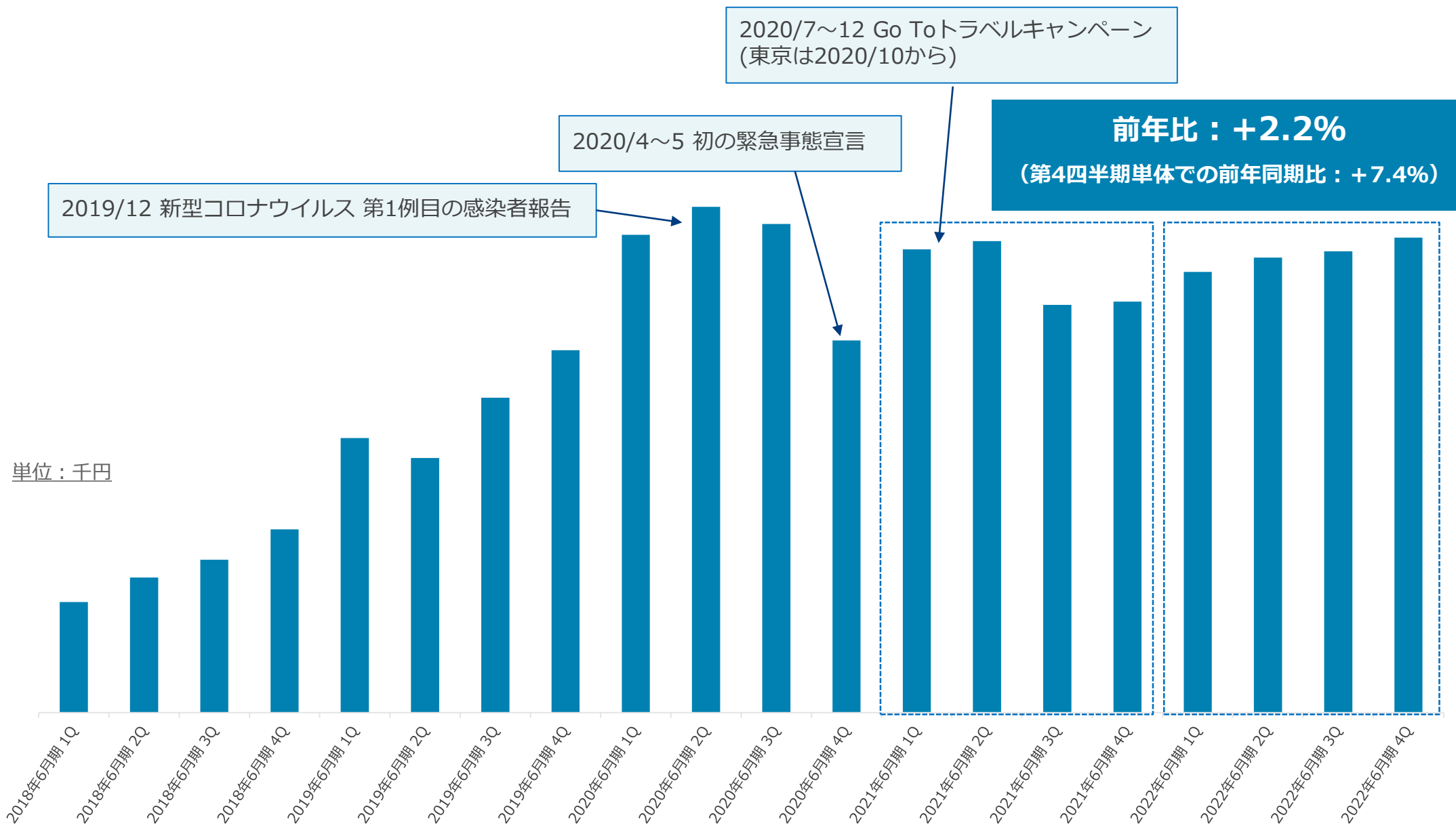
アプリケーションサービス事業は前年同期比で若干の増収増益となり、  
全社共通費配賦後の売上高利益率は72.1%

インターネットメディア事業は減収減益となり、  
全社共通費配賦後の売上高利益率は48.1%

	セグメント売上高	セグメント利益 (全社共通費配賦後)	売上高利益率 (全社共通費配賦後)
アプリケーション サービス事業	1,600,126 千円	1,284,097 千円 (1,153,365 千円)	80.2% (72.1%)
インターネット メディア事業	30,881 千円	17,319 千円 (14,852 千円)	56.1% (48.1%)
調整額	- 千円	△ 133,199 千円	-
合 計	1,631,008 千円	1,168,218 千円	71.6%

# 1 2022年6月期 決算ハイライト

## 4 アプリケーションサービス事業の売上高推移



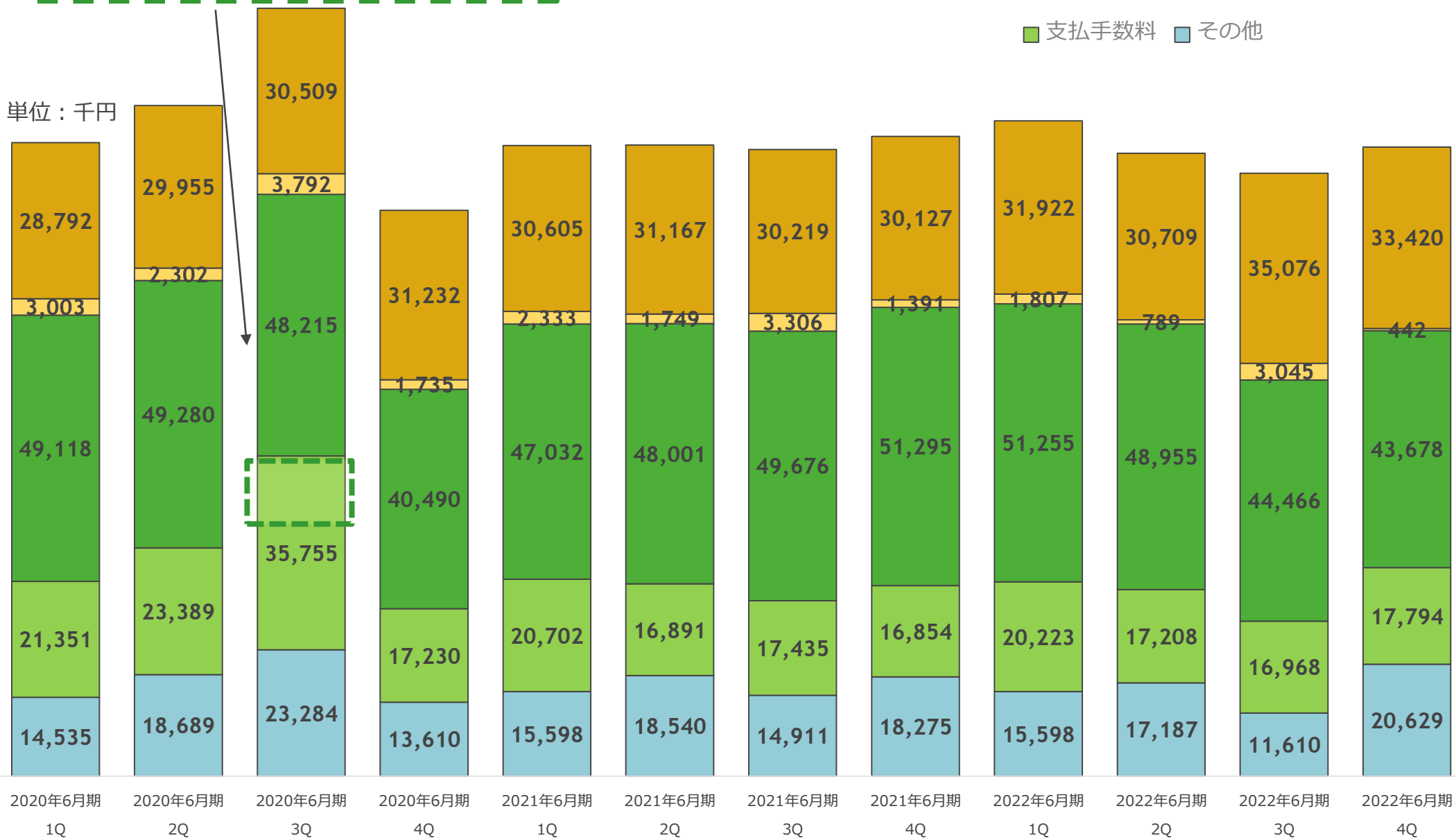
# 1 2022年6月期 決算ハイライト

## 5 売上原価及び販売管理費の内訳

市場変更関連費用約1500万円を含む。

■ 売上原価    ■ 広告宣伝費    ■ 人件費  
■ 支払手数料    ■ その他

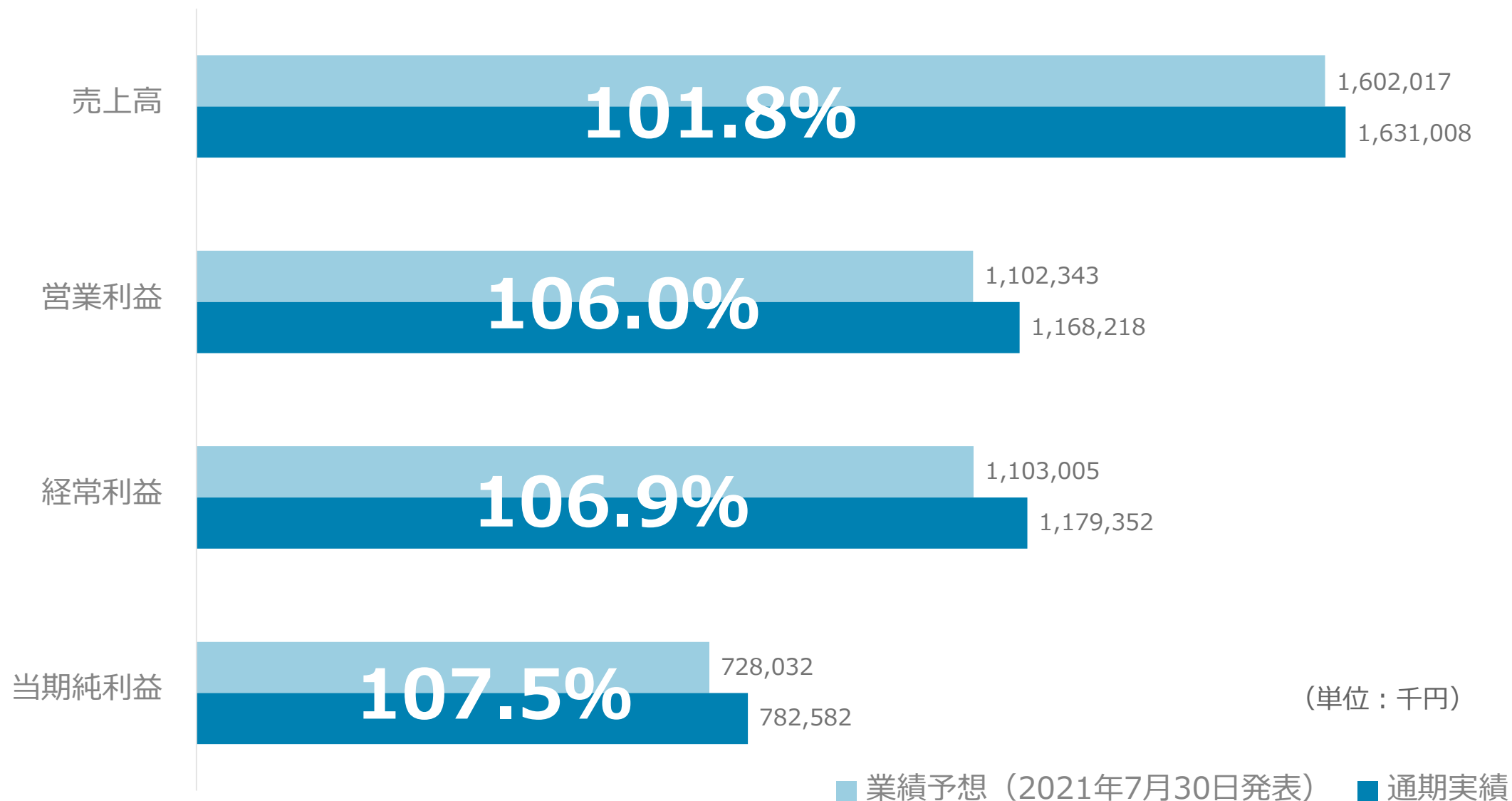
単位：千円





# 1 2022年6月期 決算ハイライト

## 6 通期業績予想に対する実績



# 1 2022年6月期 決算ハイライト

## 7 貸借対照表

	2021年6月期	2022年6月期	主な増減要因	
現預金	4,484,099 千円	5,047,336 千円		+563,237千円
その他流動資産	253,184 千円	275,309 千円	売掛金	+ 25,399千円
固定資産	61,211 千円	55,674 千円	繰延税金資産	△4,980千円
<b>資産計</b>	<b>4,798,494 千円</b>	<b>5,378,320 千円</b>		-
負債	316,632 千円	289,120 千円	未払法人税等	△12,450千円
純資産	4,481,862 千円	5,089,200 千円	当期純利益 剰余金の配当	782,582千円 △168,461千円
<b>負債・純資産計</b>	<b>4,798,494 千円</b>	<b>5,378,320 千円</b>		-
自己資本比率	93.4%	94.6%		-
ROE (自己資本当期純利益率)	18.1%	16.4%		
ROA (純資産経常利益率)	25.3%	23.2%		

# 1 2022年6月期 決算ハイライト

## 8 キャッシュ・フロー計算書

	2022年6月期末	主な増減要因	
営業CF	730,587 千円	税引前当期純利益 法人税等の支払	1,179,352千円 △405,171千円
投資CF	1,258 千円	敷金の回収	1,258千円
財務CF	△ 168,608 千円	配当金の支払い	△168,187千円
<b>CF増減額</b>	<b>563,237 千円</b>	-	-
CF期首残高	4,484,099 千円	-	-
CF期末残高	5,047,336 千円	-	-
<b>フリー・キャッシュ・フロー</b>	<b>731,845 千円</b>	-	-

(注) フリー・キャッシュ・フローは、営業CF+投資CFで計算しております。

# 2

# 事業報告

---

1 セグメント別事業概要

アプリケーションサービス事業



TEMAIRAZU

宿泊予約サイトコントローラー  
『TEMAIRAZU』シリーズの  
開発・提供

国内の宿泊施設に対して予約サイトを  
一元管理する宿泊予約サイトコントローラー  
『TEMAIRAZU』シリーズを開発・販売する。

インターネットメディア事業



比較サイト『比較.com』の運営

顧客誘導サービス

広告主のウェブサイトへユーザーを誘導し、成約件数に  
応じた手数料収入を得る。

情報提供サービス

保険や引越しの各種見積もり・資料請求等に応じた手数料  
収入を得る。

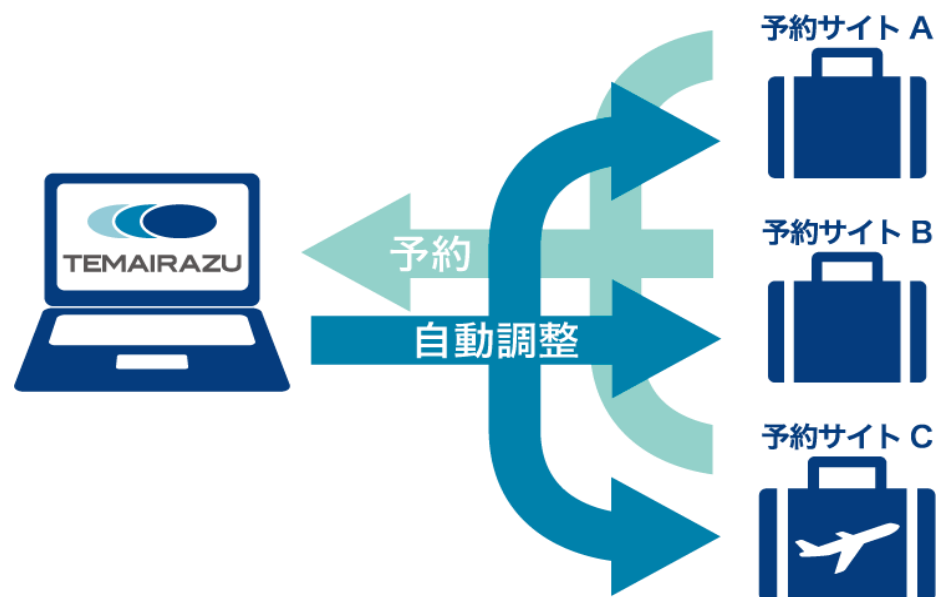
広告

バナー、テキスト、記事コンテンツ等の広告を販売す  
る。

## 2 2022年6月期 事業報告1

### 2-1 アプリケーションサービス事業の事業報告

**宿泊予約サイトコントローラーとは、複数のオンライン予約サイトの情報を一括管理するサービスです。販売チャネルの拡大による収益の向上と宿泊施設の予約業務の効率化による運用コストの削減が図れます。**



#### 複数の宿泊予約サイトも 操作一つで簡単管理

在庫や料金の管理を一括で行い、面倒な管理業務から解放。宿泊予約サイト管理の業務フローを統一化し、管理コスト削減。

#### スピーディー＆ 自動更新でオーバー ブッキング抑止

予約情報の取得を行う間隔が短く、素早い在庫調整が可能。急な予約が入った場合でも、一括で各宿泊予約サイトの部屋を手仕舞い可能。

#### インターネット接続 できる環境があればOK！

インターネット経由での使用のため、施設・本部等場所を問わず管理可能。専用サーバでの情報管理のため、故障等による急なPCの買い替えでも同じアカウントで利用可。

## 2 2022年6月期 事業報告2

### 2-2 アプリケーションサービス事業について

『手間いらず!』サービス開始

予約サイトコントローラ

手間いらず!



新型予約サイトコントローラ  
『手間いらず.NET』誕生

新型予約サイトコントローラ

手間いらず.NET  
T E M A I R A Z U



施設様と共に進化し続ける  
『TEMAIRAZU』へ

TEMAIRAZU 手間いらず.NET 2  
TEMAIRAZU YIELD 手間いらずmini

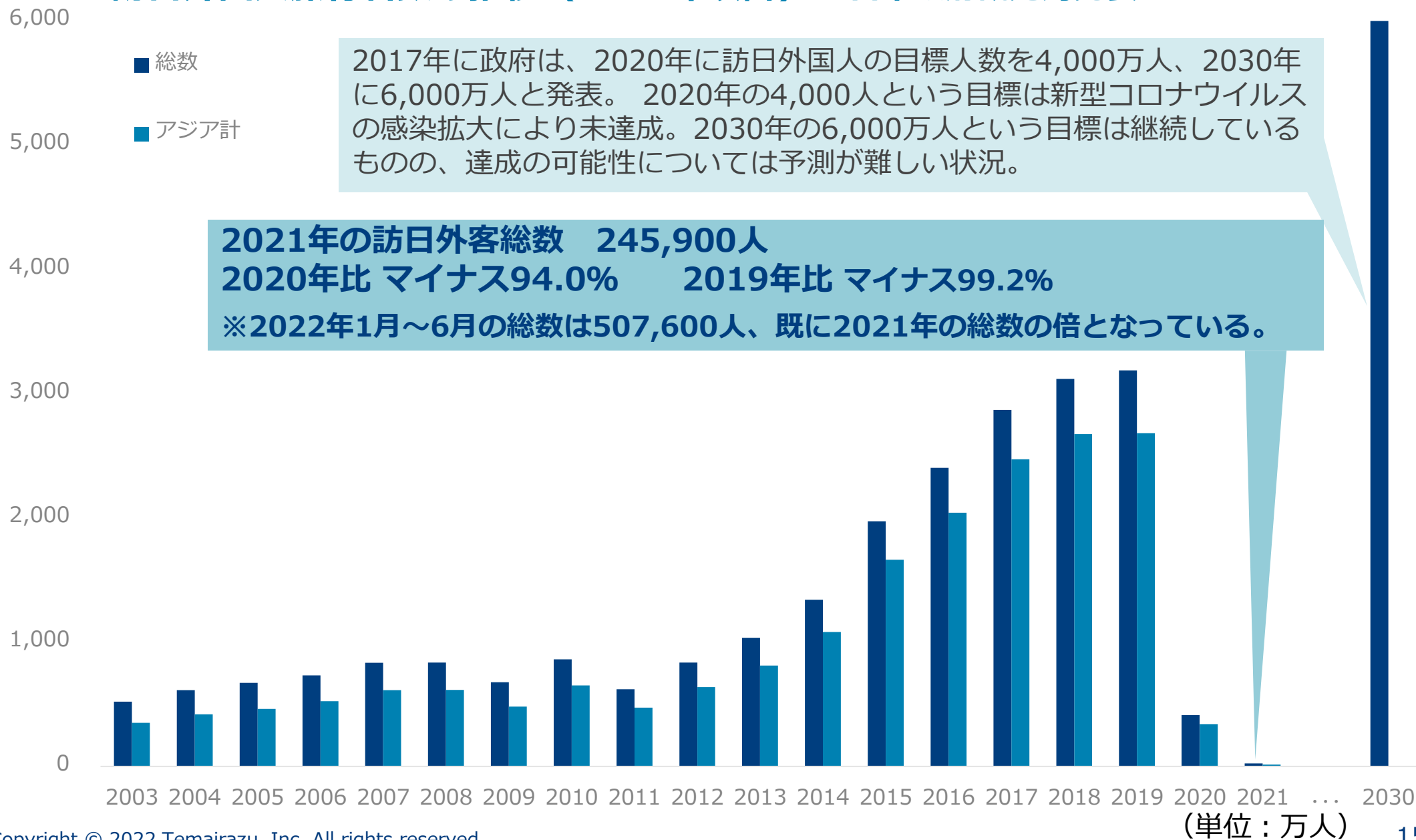
2002年、オンライン宿泊予約サイトが出現してインターネットでの予約が始まって間もなく、インストール型アプリケーション予約サイトコントローラ『手間いらず!』は誕生しました。複数の宿泊予約サイトを一元管理できるシステムは、多くの施設様に御利用されてきました。

2010年にはASP型の新型予約サイトコントローラ『手間いらず.NET』が誕生し、インターネットに接続する環境であればどこでも予約管理ができる便利さで、今まで以上に有用性の高いシステムとなりました。国内の宿泊予約サイトはもちろん、自社宿泊予約システムや海外宿泊予約サイト・ホールセラーとの連携も多数対応し、PMSとの連携やリアルエージェントの予約情報の連携もできるようになりました。さらに、CRSとの連携も可能となり、インバウンド集客にも有効なシステムとなりました。

現場で働く皆様からの貴重なご意見等を賜り、様々な機能追加や改善を行い、2015年に新生『TEMAIRAZU』として、また2016年7月から、さらに進化したシステムを宿泊施設様に提供が開始いたしました。そして2020年3月には新バージョン『手間いらずmini』をリリース。これからも宿泊施設様とともに『TEMAIRAZU』はあり続けます。

## 2-3 アプリケーションサービス事業の事業報告

### 訪日外国人旅行者数の推移（2003年以降） 日本政府観光局発表





## 2-4 アプリケーションサービス事業の事業報告

### 新型コロナウイルス感染症の影響

アプリケーションサービス事業における売上の構成：

- 月額固定収入（月額基本利用料やオプション利用料等）
- 月額変動収入（予約数に応じた通信料等）

影響：

- 月額固定収入  
→ 減少傾向にあるものの、主に小規模施設の解約による伸び悩み
- 月額変動収入  
→ 回復の兆しは見られるものの、宿泊需要の完全回復はまだ遠い

### 2022年6月期 実績

■ 月額固定収入	1,357百万円	84.8%
■ 月額変動収入	207百万円	13.0%
■ その他の収入	35百万円	2.2%

## 宿泊施設の販路拡大：国内宿泊予約サイトとの連携強化

グッドルーム株式会社のホテル暮らしのサブスクリプションサービス  
『goodroomホテルパス

株式会社NOW ROOMの家具家電付き賃貸プラットフォーム『NOW ROOM』

株式会社attaが展開するビッグデータとAIを駆使した旅行検索&予約サービス『atta』

株式会社日本旅行の予約サイト『Webコレクションプラス』及び『My宿オンライン』

株式会社ジャルパックの予約システム『eエントリーシステム』

株式会社エイチ・アイ・エスの「国内宿泊プラン予約サイト」  
及び「ダイナミックパッケージ予約サイト」

## 業務効率化、非対面化を図る為のシステム連携

株式会社アクティバリュースの顧客対応AIソリューション『talkappi』

7gardenのCRM機能をベースとしたクラウドシステム『tuna』

株式会社スマートホテルソリューションズの顔認証による  
AIホテル受付管理システム『スマートホテルマネージャー』

株式会社リクリエのSaaS型チェックインシステム『Tabiq』

## 『TEMAIRAZU』シリーズの機能拡充

### 新ブッキングエンジン

以前より開発・提供してきた宿泊予約システム「手間なし」を全面リニューアルした『手間なしNEXT』を、TEMAIRAZUオプション機能として追加

### 『プラン一括管理』機能の対応範囲拡大

TEMAIRAZU上で宿泊プランを作成・編集し複数サイトへ一括登録することができる便利な『プラン一括管理』機能を世界最大規模の旅行ECサイト『Booking.com』へ対応範囲拡大

### 新オプション『ノーショー決済機能』

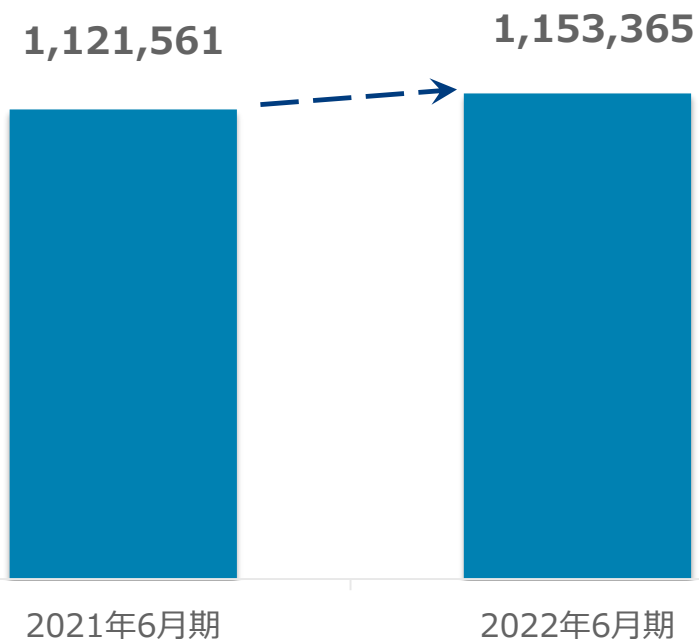
キャンセルされた宿泊予約がキャンセル料の対象となる場合や、宿泊予約をした宿泊客が連絡もないまま現れない「ノーショー」が発生した場合に、キャンセル料を徴収できる『ノーショー決済機能』をリリース

## セグメント利益（全社共通費配賦後）

前年比 +2.8%



単位：千円



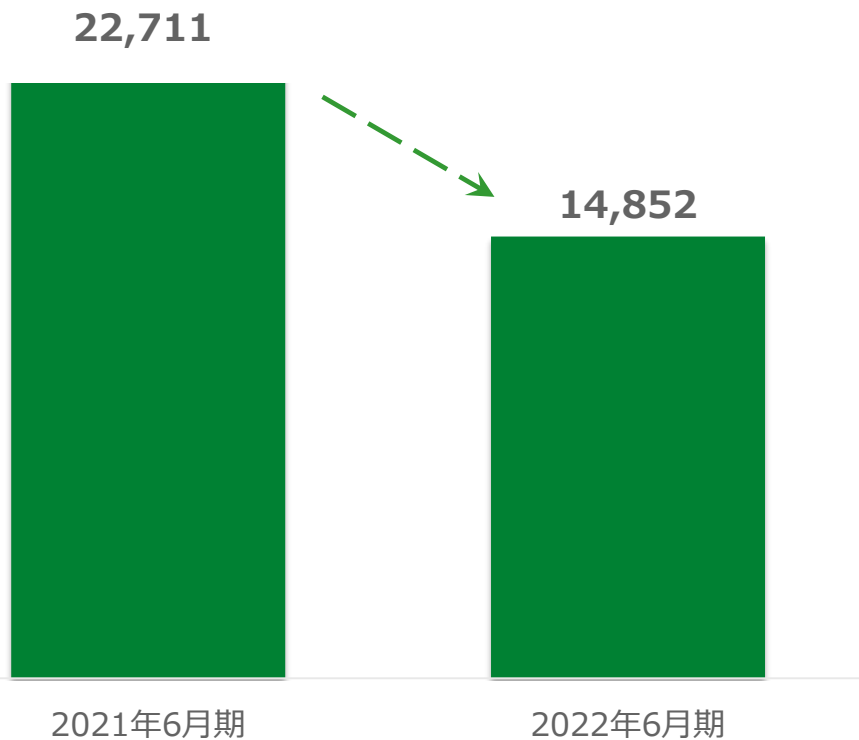
### 新型コロナウイルスの影響

- ・長期化している感染拡大等の影響はあるものの予約数は若干の回復
- ・主に小規模施設の閉館等での解約は発生しているものの、解約件数は減少の傾向

## セグメント利益（全社共通費配賦後）

HIKAKU.COM  
比較.com

前年比 -34.6%



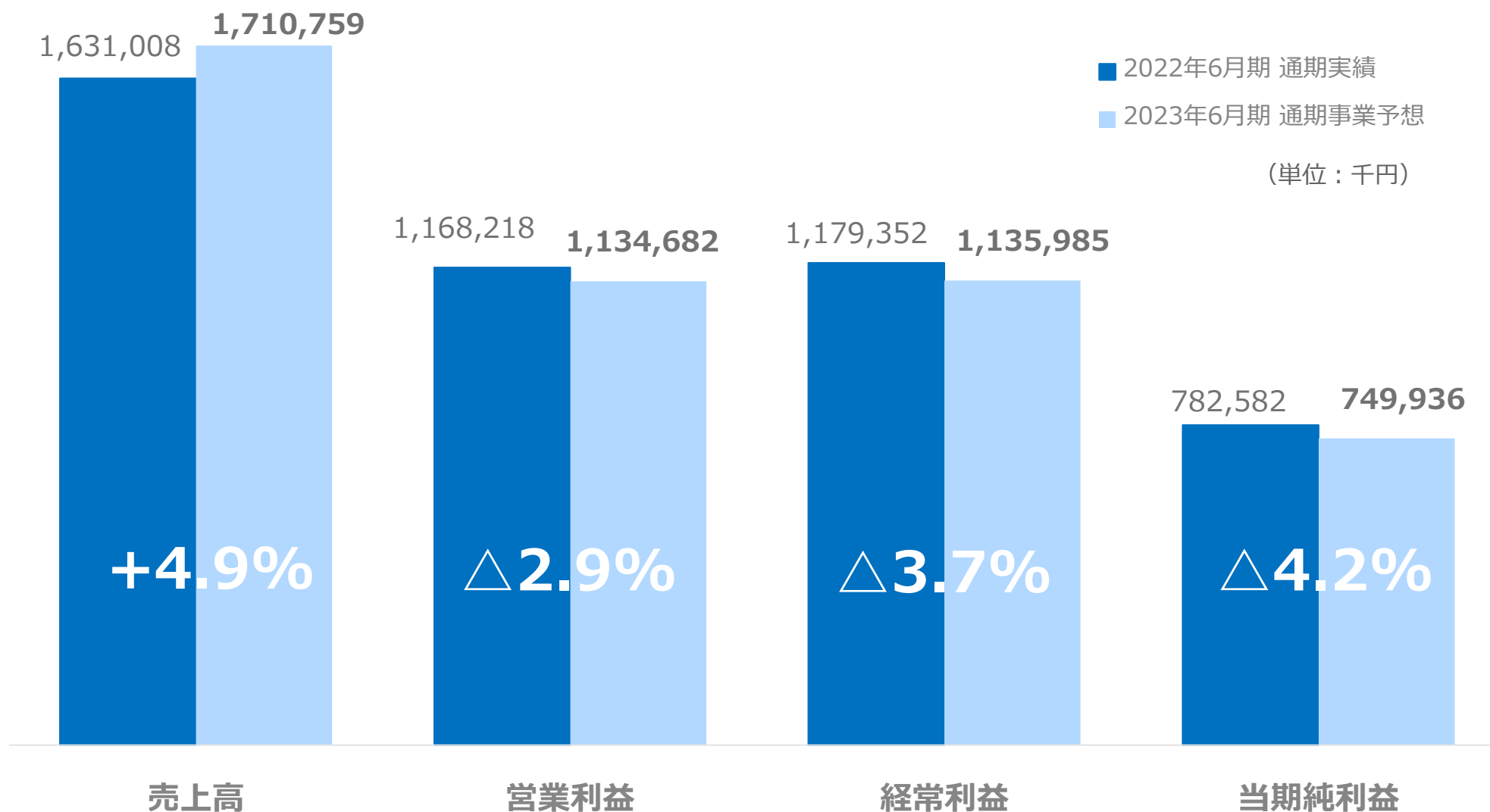
- 巣ごもり需要の弱まりによるトラフィックの減少
- 以下対策の継続的な実施
  - ・ 広告出稿の見直し
  - ・ 検索エンジン最適化
  - ・ ユーザーインターフェイスの改善
  - ・ モバイルユーザビリティの向上
  - ・ コンテンツの拡充

単位：千円

# 3 業績予想と事業展開

---

## 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を加味した予想





## 新型コロナウイルス感染症の影響

- ・ 日本への渡航制限は緩和されつつあるものの、完全撤廃にはならず。
- ・ 行動制限が完全には解除されていない国や地域も。
- ・ 2022年7月に入り、感染拡大第7波が発生（新規感染者数で日本が世界最多を記録）。
- ・ コロナ以外ではロシア・ウクライナ情勢に起因する資源価格の高騰も。

様々な要因から、インバウンド需要が新型コロナウイルス感染症以前の水準に戻るのは、早くても2025年の春以降と予測。2023年6月期は、国内旅行による宿泊需要の戻りによる宿泊業界の活性化を見込む。

売上高および営業利益については、この前提で予測しています。

### 3 2023年6月期 業績予想と事業展開

#### 2-3 アプリケーションサービス事業の今後の事業展開

- コロナウィルスからの戻り需要への対応
- 宿泊施設の収益確保に繋がる、さらなる拡販と業務効率化に貢献できる製品をめざす

**販売チャネルとの連携**

**多様なシステムとの連携**

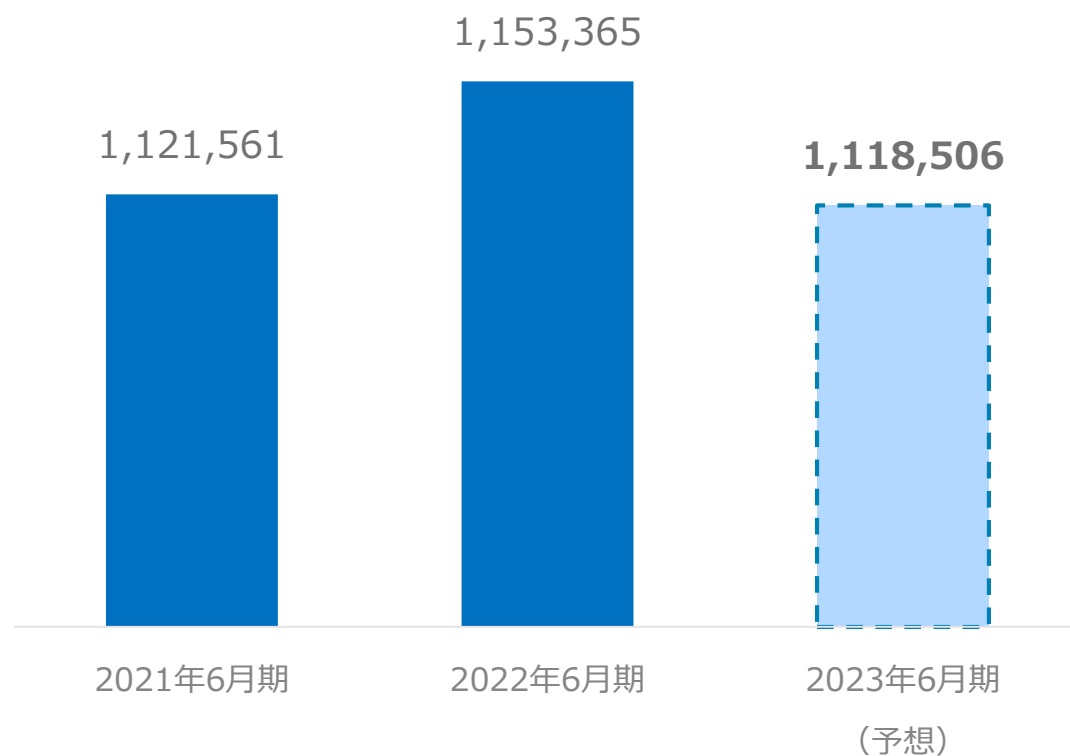
**営業力・開発力の強化**

**TEMAIRAZUの  
機能強化**

### 3 2023年6月期 業績予想と事業展開

#### 2-2 アプリケーションサービス事業のセグメント利益予想

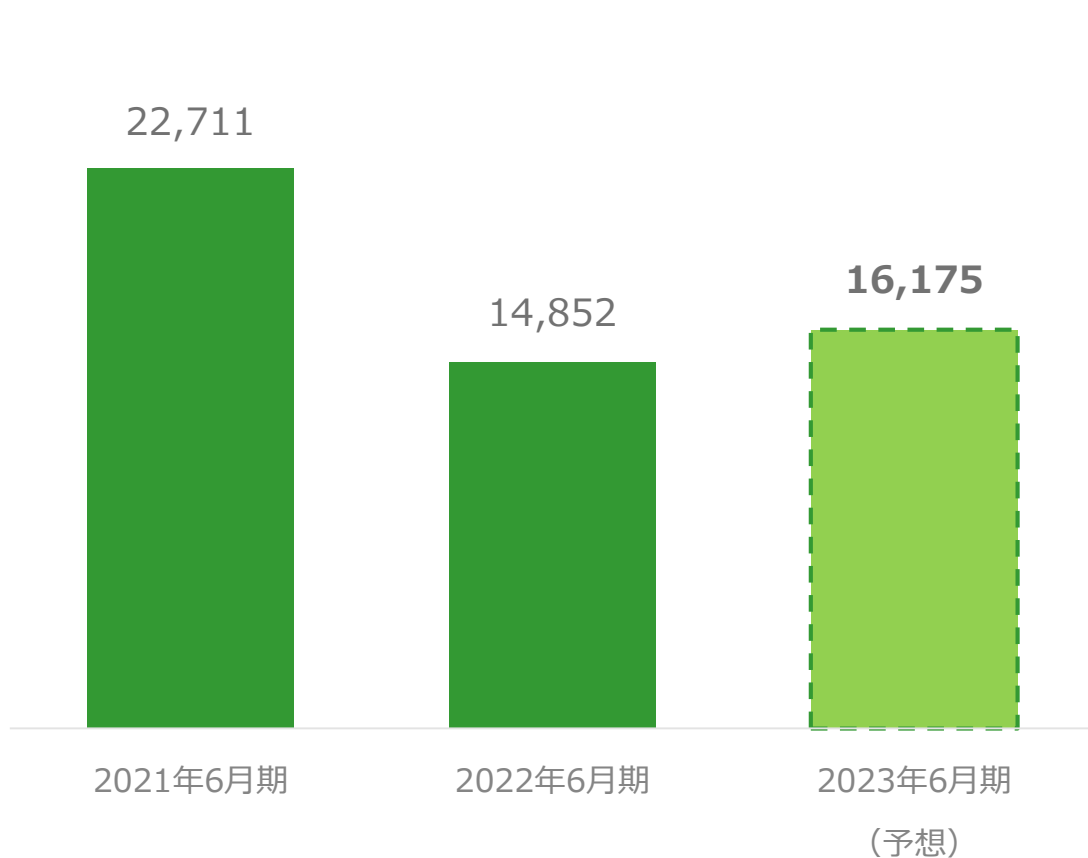
## セグメント利益（全社共通費配賦後）



**前期比  
△3.0%を予定**

単位：千円

## セグメント利益（全社共通費配賦後）



単位：千円

**前期比  
+8.9%を予定**

- ・ ユーザーインターフェースの改善
- ・ モバイルユーザビリティの向上
- ・ 検索エンジン最適化
- ・ コンテンツの拡充

### 3 2023年6月期 業績予想と事業展開

#### 4 重点的な投資領域

##### 戻り 需要

- 新型コロナウイルス感染症からの戻り需要への取り組み  
(アプリケーションサービス事業)  
営業部・開発部の増員で体制強化。戻り需要にしっかりと対応。  
→ 新規契約の獲得、既存のお客様へのサポート  
→ 宿泊需要の大幅回復に備えてシステムの強化  
→ 新機能の開発や、改良によるユーザビリティの向上等、製品力を強化

##### 新しい こと

- 中長期的な成長にむけた新しいこと(新サービス・新事業)への取り組み  
TEMAIRAZU インキュベーションチームの発足  
→ 「情報の一元管理」という当社の強みを活かした  
新しいこと、面白いことに取り組むチーム

★2023年6月期からこの2点へ投資をスタート。  
今後数年間、利益の10%以上を投資していく予定。

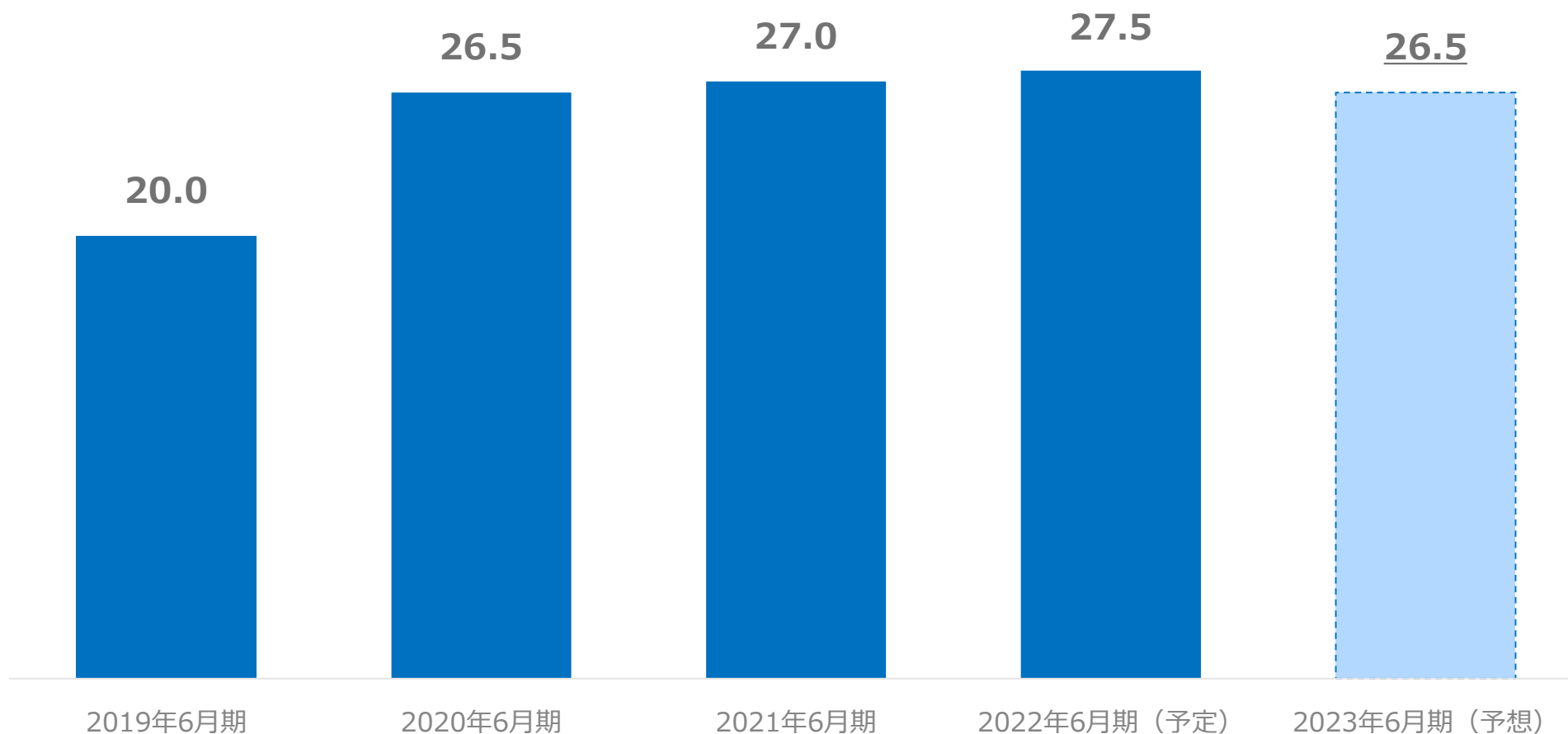
### 3 2023年6月期 業績予想と事業展開

#### 5 期末配当（予想）

目標配当性向の22.5%の方針を継続

2023年6月期の配当金は、年間合計26.5円を予想

(一株当たり配当金推移：円)



# 会社概要

商号	手間いらず株式会社	
英文名	Temairazu, Inc.	
設立年月日	2003年8月4日	
決算月	6月	
資本金	717,041,935 円（2022年6月30日現在）	
発行済株式数	6,479,834 株（2022年6月30日現在）	
株式売買単位	100株（2022年6月30日現在）	
本店所在地	東京都渋谷区恵比寿1-21-3 恵比寿NRビル7F	
証券コード	2477（東証プライム）	
監査法人	有限責任監査法人トーマツ	
主要サイト	『TEMAIRAZU』 『比較.com』	<a href="https://www.temairazu.com/">https://www.temairazu.com/</a> <a href="https://www.hikaku.com/">https://www.hikaku.com/</a>

## 決算説明資料についてのご注意

当資料に掲載されている当社の計画や戦略、業績に関する予想及び見通しのうち、歴史的事実を含んでいないものは、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信に基づくものであります。実際の業績は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性もあることをご了承ください。

法律上必要とされる場合を除いて、当社は事前の予告なく、将来の見通しに関する記述を見直したり、将来の見通しの根拠となった仮定及び要因についての変更を行うことがございますので、ご了承ください。



## IRに関するお問い合わせ

手間いらず株式会社 経営企画室

TEL : 03-5447-6690 Mail : ir@temairazu.com

## 投資家向け情報

<https://www.temairazu.com/ir/news>

## プレスリリース

<https://www.temairazu.com/press>